

さんかくマルシェ



寄席

参加無料

お待たせしました!! 今年も、「ミモザ寄席」の季節がやってまいりました。
常連さんも、これを機に3月8日の「ミモザの日」を知った人も、
老若男女・プロアマ問わず高座で躍動する落語家たちの話芸をお楽しみください!

風流亭

ふうりゅうてい

華乃家

はなのや

生楽生

またのせい

覇笛

はふえ

露の都

つゆのみやこ

出演



3/13 (日)

※状況により中止となる場合がございます。

13時30分～ (受付・開場13時～)
会場 さんかく岡山

上方落語界で活躍する日本初の女性落語家。
1974年露の五郎 (後の露の五郎兵衛) に入門し、三年間内弟子で修行。人情噺や滑稽噺など古典落語を中心に幅広い演目に取り組む。また、“大阪のおばちゃん”そのままのしゃべりの『みやこ噺』も好評。一方、各地で子ども落語教室やアマチュア落語教室を開講し、地域の文化振興にも貢献している。今では上方で20数名となる女性落語家の先頭になって活躍中。弟子の育成にも力を入れている。
平成22年度文化庁芸術祭優秀賞受賞。
公益社団法人上方落語協会理事。

※先着50名

お問合せ先 さんかく岡山 お電話のみで受付 TEL 086-803-3355

開館時間 <月・水～土> 9時30分～20時 <日・祝> 9時30分～17時

休館日 火曜日

※会場は3密を避けた配慮をしておりますが、マスク着用・健康チェック・手指消毒等の感染防止対策にご協力をお願いします。

2/26 (土)
受付開始

華乃家 覇笛

はなのや

ばふえ



岡山大学落語研究会OG。パンチの利いた語り口で、聴衆を笑いの渦に巻き込む。頭のネジが3本ほど外れた人物?を描いた落語を得意としているとか。

岡山大学落語研究会OB。落研時代から醸していた独特な雰囲気は今も健在。あなたも生楽生ワールドへ誘われる?!



風流亭 生楽生

ふうりゅうてい ぎやうのきよこ



ジェンダーってなあに?

ジェンダーとは生物学的な“性(sex)”ではなく、社会的に作りだされた性のありようのこと。たとえば、「女性はピンク、男性はブルー」とか「男は仕事、女は家事・育児」というのもジェンダー。

日常生活の中で当たり前と思い、見過ごされている性差別的な意識を取り払い、性別に関わりなく、誰もが個性を発揮できる社会をつくりましょう。



3月8日は国連が決めた

国際女性デーです!

1908年にニューヨークで行われた婦人参政権を要求するデモを起源とし、1975年に国連が制定した。女性への差別撤廃と地位向上を訴える。

イタリアではこの日は、FESTA DELLA DONNA (フェスタ・デラ・ドンナ=女性の日)とされ、男性から女性にミモザの花を贈る風習がある。このことから「ミモザの日」とも呼ばれる。

☆「さんかく岡山」アクセス☆ 岡山市北区表町三丁目14-1-201



- JR岡山駅から南東へ1.5km (徒歩約20分)
- 路面電車 <清輝橋行>「新西大寺町筋」下車(東へ徒歩約1分)
<東山行>「西大寺町」下車(西へ徒歩約3分)
- 天満屋バスステーションから南へ約500m(徒歩約7分)
- 契約駐車場はございません。お車でお越しの方は、近隣の有料駐車場をご利用ください。